

産業建設分科会委員長報告

(R 1 . 9 . 2 6)

産業建設分科会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、**第16号議案、平成30年度 一般会計決算の本分科会
所管分**ではありますが、その主なものは、

- ・ **総務費**では、地域公共交通対策や防犯灯による交通安全施設整備事業
- ・ **労働費**では、雇用対策事業による就労支援
- ・ **農林水産業費**では、持続的発展をめざした農業振興施策
- ・ **商工費**では、地域経済活性化に向けた商工業振興対策や観光推進事業
- ・ **土木費**では、安全で快適な生活を支える道路網整備や耐震化促進事業
- ・ **災害復旧費**では、農業・林業用施設や公共土木施設の復旧工事費であり、一部、不用額、繰越額もありますが、概ね予算に沿った事務事業が執行されていきました。

採決に先立ち、商工業振興対策経費について、経済効果等が表れていないことが問題であるとの反対討論がありました。採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、地域経済活性化対策経費について、一層の創意工夫により地域を活性化させる手法を早急に見直すこと。また、大河ドラマ誘致活動事業経費に関わっては、今後大河ドラマ館等のPRを十分にを行い、経済効果が上がるよう期待するとの意見がありました。

次に、**第19号議案、平成30年度 亀岡市地域下水道事業特別会計決算**ですが、生活環境の改善 及び 公共用水域の水質保全を図るための施設管理等が主なものであります。本会計については、平成31年4月1日から下水道事業会計へ統合したことに伴い、打切決算となっています。別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第22号議案、平成30年度 亀岡市土地取得事業特別会計決算**ですが、京都・亀岡保津川公園用地先行取得に係る長期債償還等が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第24号議案、平成30年度 亀岡市水道事業 会計決算**ですが、施設拡張事業では、老朽化した王子配水池おうじはいすいちを更新及び

耐震化するため、築造に係る設計業務委託を実施されました。

また、建設改良事業では、老朽管路の耐震化更新工事および千代川浄水場の送水ポンプの更新工事等の実施により、安全・安心な水道水の安定供給に向けた整備が一層進みました。

経営状況においては、当年度、6,348万4千円の純利益を計上しましたが、給水人口の減少等による年間給水量の減少傾向の中、今後も老朽管更新・耐震化等、多くの維持管理経費が見込まれることも踏まえ、これまで以上に健全経営に努めていくことが望まれます。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第25号議案、平成30年度 亀岡市下水道事業 会計決算**であります。公共用水域の水質保全を図り、良好な生活環境を確保するため、建設事業においては、公共汚水枡の設置工事や、年谷浄化センターの改築更新事業が実施されたほか、放流水質向上の取り組みとして、同センターの高度処理化工事も推進されました。

経営状況においては、当年度、4億7,876万4千円の純利益を計上しましたが、今後の施設整備においても多額の経費が見込まれる中、安定して事業継続できるよう、水道事業と同様に、より一層の経営努力が求められます。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第60号議案、平成30年度 水道事業会計 未処分利益
剰余金の処分について、及び、第61号議案、平成30年度
下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分についての2議案は、**
それぞれの会計決算における当年度末残高で生じた未処分利益
剰余金を、資本金に組み入れるものであり、別段異論なく、
採決の結果は、全員をもって**原案可決**すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。

《産業建設分科会》

令和元年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	商工業振興対策経費	3 見直しの上継続	<p>○成果指標を適正に測り、各補助金や助成金の見直しを図られたい。</p> <p>○地域商店街等とさらに連携を図り、地域経済の活性化とにぎわい創出に向けより一層努力されたい。</p>
2	観光推進経費	3 見直しの上継続	<p>○森の京都DMO等関係団体とよりしっかりと連携を図り、2020年のターゲットイヤー及びその後の亀岡市の観光推進に向け、プロモーションの強化を図られたい。</p> <p>○滞在型観光の推進と消費拡大に向け、さらなる工夫を図られたい。</p>
3	バス交通関連経費	3 見直しの上継続	<p>○今後も公共交通に対する市民ニーズを的確にとらえ、市民の移動手段確保のため一層工夫されたい。</p>

事務事業評価

平成30年度／商工業振興対策経費〔内訳〕

	件数	全体経費	国費・府費 ふるさと力等	市費
亀岡商工会議所事業補助金	28	12,534,360	み 4,557,000	7,977,360
平和祭（花火大会）事業補助金	1	4,000,000	み 1,824,000	2,176,000
企業立地奨励金	6	21,244,600	み 18,354,000	6,994,600
雇用促進奨励金	6	19,000,000	ふ 14,896,000	
亀岡地域経営・経済動向調査事業補助金	1	2,000,000	が 2,000,000	
商工業振興公共下水道助成金	2	11,446,000		11,446,000
地域商店街にぎわいづくり支援事業補助金	1	419,000	創 209,500	209,500
ものづくり産業雇用支援助成金	48	15,500,000	み 6,978,000	8,522,000
創業支援助成金	4	1,310,000	み 597,000	713,000
商工業振興事業補助金	1	14,500,000		14,500,000
ものづくり産業経営安定化支援助成金	3	725,800	み 331,000	394,800
商店街等総合振興事業費補助金	1	896,000	商 448,000	448,000
合計	102	103,575,760	50,194,500	53,381,260

創 国庫支出金／地方創生推進交付金

み 府支出金／みらい戦略一括交付金

商 府支出金／商店街等総合振興事業補助金

が 諸収入／地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業補助金

ふ 繰入金／京都・亀岡ふるさと力向上寄附金